

# 第19回 全国街路事業 エンクォール応募資料

平成19年2月

応募者名 : 高知県四万十市

事業の名称 : 中村都市計画道路  
堤防廻線改良事業

実施都市名 : 高知県四万十市

## 事業の目的

中村都市計画道路堤防廻線は、国土交通省が実施する『中村堤防』の改修に併せ堤防と道路を一体的に整備するもので、四万十市との合併施行により整備改善を図る。

この中村堤防の堤内地には中心市街地が形成され一般住宅や商店街ほか、学校や市役所などの公共施設も多数存在し、都市機能が集積した区域となっており、本市にとって治水上最も重要な事業として早急な整備が望まれていた。

又、中村堤防沿いを走る「都市計画道路堤防廻線」の改良は高規格道路(中村宿毛道路)中村ICや国道56号から市街地を經由して国道439号、441号と通じるアクセス道路としての機能を高め、市街地内の通過交通を排除し、スムーズな交通を確保するとともに中心市街地内の内環状線としての役割を担うもので、都市における適正な交通体系の確保に努める。

# 事業概要

## 事業概要(1)

事業名 : 中村都市計画道路堤防廻線改良事業  
事業個所 : 四万十市一条通五丁目～四万十市東町三丁目  
事業延長 : 0.98km  
幅員 : 13.0m  
総事業費 : 294百万円  
事業期間 : 平成15年度～平成17年度

## 事業概要(2)

本事業は市街地を迂回する補助幹線道路であるが、幅員が狭いことから自動車や歩行者の交通に支障をきたしてきた。そこで国土交通省が実施する「中村堤防」の改修に併せ、現在の道路構造令に適合した道路として整備不十分であった歩道の確保並びにバリアフリー化等を行い、安全で安心して通れる道路を確立するもの。

# 事業位置図

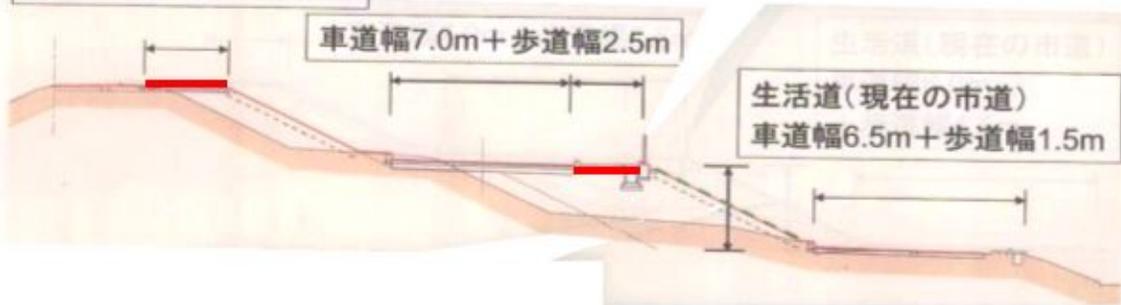


# 横断図

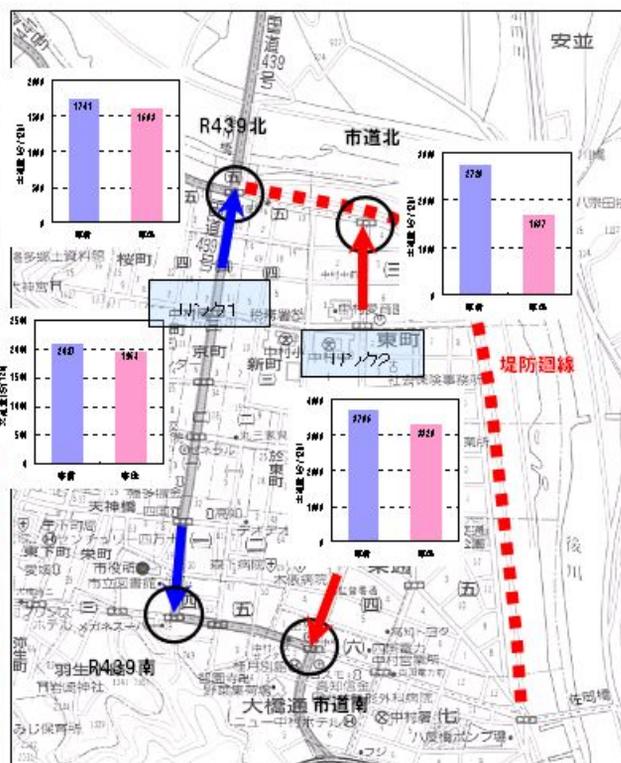
自転車・歩行者道幅3.5m

車道幅7.0m+歩道幅2.5m

生活道(現在の市道)  
車道幅6.5m+歩道幅1.5m



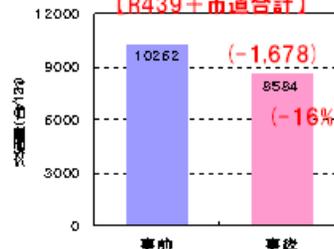
# 中村都市計画道路堤防廻線の整備効果アピール資料



## ○事業概要

事業名：中村都市計画道路堤防廻線改良事業  
 事業個所：四万十市一条通五丁目～四万十市東町三丁目  
 事業延長：0.98km  
 幅員：13.0m  
 総事業費：294百万円  
 事業期間：平成15年度～平成17年度

## 【R439+市道合計】



## ○交通量調査結果

事前：平成18年3月7日  
 事後：平成18年7月4日

### リンク1)

交通量 3,828 → 3,567台  
 旅行速度 19.5km/h → 24.5km/h

### リンク2)

交通量 6,434 → 5,017台  
 旅行速度 31.5km/h → 36.5km/h

### 堤防廻線)

旅行速度 28.0km/h → 40.5km/h

## 「整備効果」

○道路交通の分散化に伴う市街地の通貨交通の減少により、交通渋滞が解消。



○堤防廻線の整備に伴い、現在整備中の自動車専用道路とのアクセスが約3分向上。市街地内の交通量が約1割減少。

○旅行速度の向上  
 堤防廻線 28.0km/h ⇒ 40.5km/h



○歩道の拡幅により歩行者のゆとり、安全性が大幅に向上した。

# 事業前写真

平成15年3月撮影



平成15年3月撮影

# 事業位置図

平成18年6月撮影



平成18年6月撮影

平成18年6月撮影



平成18年7月撮影